

★中央教修了者のつどい開催

去る十月十日（土）西本願寺高岡会館中央教修了者のつどいが開催され、門徒推進員三十名が参加した。研修会開催にあたってはマスクの着用や手指の消毒、間隔をあけての着席や定期的な換気など感染症対策を取ったうえで開催された。

今回のテーマは「仏教者としての視点と生き方」新型コロナウイルス問題によって問われたこと」

はじめに氷見東組門徒推進員世話役の宮下泰三さんによる問題提起があり、今回の新型コロナウイルスがもたらした問題として、感染した方や医療関係者やその家族まで激しい排除と差別を受けているということを挙げ、感染症の拡大という健康上の問題だけでなく、深刻な人権侵害という問題になっていると提起された。

話し合い法座では①「新型コロナウイルス感染拡大の影響でご自身の関わる範囲でどのような問題が起こっていますか」②「今回の問題では感染症そのものだけでなく、互いの行動を監視する相互監視や感染した方や医療従事者等に対する差別などが起こっていますか、それらをどのように受け止めていますか」の二点のポイントについて話し合い、①については「勤めていた会社を休職になった」「他県から移動してくる運送業者の方に対する風当たりが強い」「入院している家族に面会ができない」「営業で外回りをしている家族がいるため、互いに気を使って家庭内でも距離を保って生活しているような状態」「大事な人の葬式ですら簡略化しなければならない」「地域やお寺の行事が軒並み中止になっているが、そのことが人間関係や今後の存続にまで関わってきている」と、大きな悪影響が出ているという意見がほとんどであった。

また、②については「医療関係者は今でも大変な目に遭

っているが、こっちもどうしても気を使ってしまう」という声や「社会全体に病気に対する不安が蔓延しているが、それが他者への攻撃につながってしまっている」と指摘する意見もあった。

最後に講師助言として濱野信宏さん（前教区主幹・同朋企画専門委員長・新湊組勝光寺住職）より、助言があり「今回の新型コロナウイルス感染拡大に伴って生じた差別事件については、ある大学の研究者によって報道されている事件をまとめた資料がありますが、A3用紙に細かく列挙しても十二枚を超える分量となります」

と報道されているものだけに限っても差別事件が続発していることを挙げられ、そこには「そもそも何が『差別』かわからない」「区別であって差別ではない」という日本社会全体の人権意識の欠如や無理解、感染した人間に問題と責任の所在を求めるといふ「自己責任論」が背景にあるとされた。

また、ハンセン病差別を例に、日本の歴史の中で、感染者差別は繰り返し行われてきた歴史があることを挙げられ、今また同じことが私たち自身の手によって繰り返されようとしていると指摘された。

その上で、「生きている以上、逃れられない『苦』の事実の直視から出発し、正しい自己診断から問題の所在・原因を明らかにする」教えが仏法であるとし「み教えを聞いたら生き方が変わるのですか」という連研ノートのテーマを引用し、仏法には実際にその人の生き方やものの見方を変えていく力があるとし「私たち自身が深く関わる問題だからこそ世間の風潮や噂に従って行動するのではなく、仏法を依りどころとし、仏法に従って行動していくことが重要であり、そこに仏教者としての生き方が問われてくるのではないでしょうか」と助言された。

▼全国組長研修会（オンライン）開催

十月十九日（月）午前九時三十分より西本願寺高岡会館礼拝堂において、標記研修会（オンライン）が開催された。この研修会は、四年に一度、宗派寺院活動支援部が主催し、組長を対象に本山において一泊二日で行われる研修会であるが、本年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの開催となったものである。

内容は、Ⅰ「組長の職務について」、Ⅱ「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要について」、Ⅲ「次回宗会議員選挙について」であった。

Ⅱ「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要について」は、二〇二三（令和五）年の法要の基本日程と団体参拝の説明であり、団体参拝については、今後一年をかけて募集・調整を行うと説明がなされた。十一月十九日にオンラインにより第一回団参会議が開催され、教務所職員への詳細説明がなされる予定である。

Ⅲ「次回宗会議員選挙について」は、僧侶宗会議員の任期満了が本年十二月十日（木）であり、その後予定される僧侶宗会議員選挙については、新型コロナウイルス感染症の終息の目的が立たない状況をかんがみ、感染リスクの軽減対策として特例措置を講じるとの説明がなされた。今回の僧侶宗会議員選挙に限ってのことであるが、投票方法について複数「当日投票」・「郵便投票」・「期日前投票」の選択肢が用意された。

次回僧侶宗会議員選挙については、十一月六日付、宗告が發布され、選挙日は令和二年十二月十一日（金）、立候補届出受付日は令和二年十一月二十六日（木）と決定された。

高岡会館報恩講お初夜「親鸞聖人を語る夕べ」

期 日 11月25日（水）午後7時～9時
※本年は「うどん」のお齋はございませんのでご注意ください
内 容 第1部 おつとめ（正信偈六首引き）午後7時～
第2部 ご講演 午後7時40分～
テーマ 親鸞聖人の教えに学ぶ
—「教え」から「私」が問われていること—
ご講師 栗山宣雄師（川上組本福寺住職）
（詳しくは同封のチラシをご覧ください。）

西本願寺高岡会館 報恩講法要のご案内

○下記の通り高岡会館の報恩講を勤めます。

日 時：11月26日（木） 日中—午前10時（※本年は一座のみ）

布 教：寺西良夫師（氷見組明巖寺住職）

講 題：『報謝の大道を歩む』

※日中（お勤め・ご法話）の後、お齋（お弁当）をお配りし終了となります。

★御同朋の社会をめざす運動のコーナー

御同朋の社会をめざす運動中央委員会報告

去る十月八日（木）に「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）中央委員会が開催されました。本委員会は各教区から代表者一名を選出して委員会を構成し、実践運動の推進上の課題についての意見交換や情報共有を図り、また、各教区から中央に提出された意見具申について総局や担当部署から回答する場でもあります。数ある会議体の中でも宗派の実践運動のあり方や運動の方針について意見が交わされ、また、各教区からの意見を中央に吸い上げる役目を持つ非常に重要な委員会です。

例年であれば第一回の委員会は七月に開催されておりましたが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響で三か月遅れの開催となり、日程も大幅に短縮した上でWEB上にて開催されることとなりました。中央委員以外にも事務担当職員と教務所長の傍聴が認められることとなりました。

はじめに報告事項の「実践運動・重点プロジェクトの総括及び現状について」では、第三期重点プロジェクト推進期間（二〇一八年度～二〇一九年度）の各教区からの総括が報告されましたが、特に重点プロジェクト「貧困の克服に向けて」Dana for World Peace「子どもたちを育てるために」の進捗状況については、各教区からの報告では「具体的に何をしたらいいのか困惑する声も聞かれた」「あまりにも唐突で戸惑いを隠せなかった」「周知が行き届いていない」と困惑する現場からの厳しい報告が相次ぎました。また、実践運動全体の進捗については今まで運動を牽引してこられた方々が高齢化し引退していくことによる人材難、組・寺院・門信徒の体力が低下し、様々な活動が大きな負担になってきている等、教区によって事情は異なるものの全体的には運動が停滞してきているとの報告が共通していました。

また、「子供たちの笑顔のための募金」についての現状報告では第一期（二〇一八年八月～二〇二〇年一月）では募金額が二一〇万八千九百四十一円、募金件数が八百七十三件で、募金に応じた寺院は五三一カ

寺で全寺院の五・二％、組では三十四組で全組の内六・五％、第二期（二〇二〇年二月～二〇二一年一月）は九月二十四日現在で千四百七十四千五百六十一円、募金件数五百七十七件中、内訳は寺院は二百三十九件で全寺院の二・四％、組では十七件と全組中三・四％しか協力していないという驚くべき数字が報告されました。

協議事項では（一）コロナ禍における宗門重点プロジェクトの取り組みについて（二）「子どもたちの笑顔のために募金」の今後の展開についての二点が協議題として挙げられていましたが、意見交換の時間でも各教区選出の中央委員からの意見はあまり出ないまま終了しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で一か月前になってからの案内であったこともあつて今回は意見具申を提出した教区はなく、協議の「その他」の時間に高岡教区から①宗派から依頼された「組重点プロジェクトリーダーの選出依頼」に関しての組重点プロジェクトリーダーの具体的な活動内容と法的根拠が明確でないこと、責任を負うべき任命者が総局ではなく教務所長になっていることについて②中央委員会の今後のあり方についての二点について意見いたしました。「ご意見として承っております」ということで回答はありませんでした。

今回の中央委員会を傍聴して、宗派挙げての取り組みであるはずの重点プロジェクトが現場ではほとんど動いていないという非常に深刻な状況にあることが浮き彫りとなったような感があります。重点プロジェクトの内容そのものに対する是非もありますが、災害に対する義援金は短期間に相当額の募金があることを考えると、なぜ宗教団体である我々がそれに取り組まなければならないのか、その意義や必要性が示され、課題の共有がなされなければ、いかに強力な上意下達のシステムを構築したとしても機能しないということが明らかとなったように思います。

今取り組むべき喫緊の課題は、地方の現場からの声を吸い上げるボトムアップ機能の復活、中央との往復の意見交換という運動全体の進め方ではないでしょうか。

【高岡教区教務所・教区主幹 岡西好持】

◇これからの日程（11/14～12/31）◇

11月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	
16	僧侶集会議員立候補予定者選挙事前説明会	
18		布教団役員会
19	第1回親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年法要団参会議(オンライン)	
25	親鸞聖人を語る夕べ	長寿苑ビハーラ活動
26	会館報恩講 僧侶宗会議員立候補届出日	
12月		
7		仏婦第2回常任委員会 講社もち米進納(～8)
11	僧侶宗会議員選挙日	
14	常例法座	
16		門推教区代表者会議(オンライン)
28	午前中教務所事務終了(1月8日(金)事務開始)	

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送(KNB)・738kHz.

◎毎週土曜日(本山制作)午前5:35～5:45
□第2・4日曜日(富山・高岡制作)午前6:00～6:10

◎11/28(土):中川 清昭氏

(本願寺派布教使・福岡県願應寺前住職)

「今日、鏡をみましたか」

◎12/5(土):中川 清昭氏

(本願寺派布教使・福岡県願應寺前住職)

「無自覚性自己中心症」

◎12/12(土):中川 清昭氏

(本願寺派布教使・福岡県願應寺前住職)

「仏教婦人会綱領について」

□12/13(日):福田 慶隆

(高岡教区)

◎12/19(土):中川 清昭氏

(本願寺派布教使・福岡県願應寺前住職)

「コロナとともに」

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱(170袋) 10,000円

・1組(10袋) 600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
(寺族青年会担当)

Tel.(050)5587-7708(代表)

Fax.(0766)21-5152

【西本願寺高岡会館 12月常例法座】

ご講師: 池内 瑞雄氏

(新湊組円徳寺)

ご講題: 『未定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。